



神奈川県イグレンニュース

<第195号>

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：愛賢司
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川県中小企業センタービル 7F
 Tel./FAX 045-228-7331 http://www.kanagawa-iguren.com

2019年2月号

イベントのお知らせ

→ 第79回 西湘サロン

日時	平成31年3月11日（月）午後6時30分～8時30分（開場6時）
場所	おだわら市民交流センターUMECO（JR小田原駅東口より徒歩約2分）
内容	話題：「お客さまの満足度を高め 集客につなげる モノづくりワークショップの企画と運営」 aspen grove（アスペングローブ）代表 福本 ミカ様
参加費	1,000円（当日）

→ 第49回 海老名サロン

日時	平成31年3月29日（金）午後3時より
場所	神奈川中小企業センター6階 大研修室（JR関内駅徒歩約3分）
内容	（1）中小企業における外国人労働者の確保と活かし方 講師 柳館 亮一氏 ユリーカ国際行政書士事務所長 ・外国人サポートー各種ビザ申請、帰化申請等 ・会社設立サポート他 （2）「中小企業におけるエンジニアの採用について ～技能実習生ではない外国人エンジニアの採用とは～ 講師 山田 恵梨氏 株式会社 One Terrace グローバル人財部門マネージャー ①海外からの外国人を社員として採用する方法 ②外国人労働者採用を上手に進めるためのポイント（採用前から採用後）
参加費	3,500円 交流会「とりろう」（関内駅前）

※ 詳細は最終ページをご覧ください。

皆さんの参加をお待ちしています。

今月のコンテンツ

- 1. テクニカルショー 2019 のお礼と報告..... 2 ページ
 - 2. 株式会社 山喜様工場見学会での強く印象に残ったこと..... 3 ページ
 - 3. 「経営支援講座」の「補助金活用講座」開催のお知らせ！..... 5 ページ
 - 4. 閑中閑話..... 6 ページ
- 巻末 第49回「海老名サロン」のご案内
 「経営支援講座」(補助金) 開催案内

➔ テクニカルショー 2019 のお礼と報告

2019年(平成31年)2月6～8日に開催された第40回テクニカルショウヨコハマ(工業技術見本市)は、パシフィコ横浜展示ホールにて3日間で3万5千354人の来場者、昨年は3万6千056人で702人下回った。初日雨だったのと、東京ビッグサイトで同期間「第23回機械要素技術展」と重なっていたためと思われる。出展者は前年より6社多い806団体・企業で相変わらず他県からの出展も多く大変賑やかであった。高校生の見学もあった。

イグレンのブースは「加工技術」の真ん中にあり、航空宇宙のまんてんプロジェクトと隣り合わせで大変活気があった。今回は、ポスター展示が5社(協立電機工業(株)・(株)テクノコンサルタント・山勝電子工業(株)・VRワイパオジャパン(株)・イグレン)、サンプル出展が昨年より多い5社(開明製作所(株)・尾下紙業(株)・紅茶コージュクリムソン・(株)ハーバーエンタープラス・VRワイパオジャパン(株))。紅茶は試飲サービスが受けて、テーブルと椅子が尾下紙業のダンボール製品。

初日の出展者セミナーの事例発表はイグレン(児玉英二理事)・山勝電子工業(株)(塚本涼営業部)・金子和夫(副議長)(原子力問題)・(株)テクノコンサルタント(伊東会長、非破壊検査技術)の4人。

昨年に引き続き作成した「会員企業ガイドブック」は23グループ・社の協賛を得て、200部(昨年は10社100部)作成したが、ほとんど配りきった。表紙も昨年より工夫され、全体にグレードアップされ、好評であった。

友好関係にある石川県ニュービジネス創造協議会も出展。また以前協力関係にあった山形県米沢市電子機器機械振興協議会も出展、注目した。

他県からの出展が多いのは、やはり横浜は首都圏で地方の見本市より、お客が多くビジネスに繋がると期待されているからだ。

イグレンブースに立ち寄られた皆様や出展にご協力いただいた方々に改めて感謝したい。(芝忠)

とつかコラボ倶楽部が例会

2月14日付けタウンニュース戸塚区版によると、イグレン傘下のとつかコラボ倶楽部が例会を開いた記事が掲載されている。「地域交流を目的とした団体『とつかコラボ倶楽部』が1月28日、区内で様々な活動をしている会員を集めて情報交換会を行いました。当日は医療向けウィッグの販売者、鍼灸師など9人が参加。各々が活動により強みをつけようと、日頃働くなかで得た知識を共有し、交流を深める姿が見られました。同団体では現在仲間を募集しています。問い合わせは渡邊さん 080-5532-7852」。関心をお持ちな方は渡邊さんに連絡してください。」

川崎で腹話術のつどい

イグレン会員である渡邊勉氏らが開催する「第13回腹話術の集い」が3月10日(日)13:30から16:30まで、川崎市総合自治会館ホールで開催される。入場無料。会場はJR・東急東横線ともに武蔵小杉駅から徒歩7分。問い合わせ先は「腹話術の会きずな」電話・ファックス 044-544-3737 城谷護。

➔ 株式会社 山喜様工場見学会での強く印象に残ったこと

グレイでは、2月13日(水)に横浜市金沢区に所在するベアリング保持器メーカー株式会社山喜さんの見学会を開催しました。当社は、国内市場を重視してユニークな生産・経営体制で活発な事業活動を展開されていますのでその一端を紹介します。



今回の株式会社山喜様の工場見学会では、①数多くの高度なNC加工機を持ちながら、その稼働率よりも人の稼働率を重視していること、②フラットな組織体制での経営、そして、③十分な利益があるにもかかわらずシリンダーライナーの生産中止の決断、この3つが21世紀の日本の企業経営の在り方を象徴しているような気がしたいへん印象的であった。なぜなら、従来の製造業の経営者であれば山崎社長とは真逆の経営方針で対応してしまう傾向にあるように思えたからである。

まず、MC など高額な複合工作機械を所有する企業の経営者は、設備投資に際して高い稼働率を維持できるかどうかに関心を持ち、購入後も適切な稼働率を工場に要求する傾向にある。稼働率が低ければ、稼働率を上げるために採算を無視して受注に努力をするように部下に要求する。ついつい利益の小さな注文を引き受けて、稼働率が上がればそれで安心してしまい投資を回収できずに古い設備を所有する例がたくさんある。この会社ではこれらの実態を踏まえた上で設備の稼働率より、人の稼働率を重視しておられる。

また、この会社のように従業員 50 名を超える多くの企業では、ピラミッド型の組織体制でなければ適切に管理できないと思い込んでいる。それをこの会社では経営の重要な役割を社長、工場長、総務部長 3 名で分担することで経営を実践している。それぞれの役割とその業務量は相当重くなるはずである。ピラミッド型では役割分担をすることで各人の業務量は少なくなるが担当者間の調整のために会議などに相当の時間を取られている実態があり、現在の問題でもある。3 名で全体を把握し、対応すれば相互の時間の調整や意思の疎通などは短時間で済み結論も早い。それぞれに高い能力と判断力が必要となる。しかし、人材が少なくなる将来、これを参考にして恐れずに採用する必要があると思われる。

更に、シリンダーライナーの生産中止の決断と発注先への説明に相当ご苦労された旨の説明があった。従来型の製造業の経営者として大変難しい決断をされたと思う。しかし、無理な受注で当面利益が保証されてもその注文がどこまで継続するかは不明である。発注先の要求に応じて資源と技術への投資をして海外生産への移行や受注継続し、その後注文がなくなり、困難に遭遇した企業の話多数聞かされたことがある。海外生産移転や技術への投資は、基本的にすべて企業の自己責任である。発注先の担当者は必要に迫られて当面の注文は出しても、将来の経営維持のできる注文を保証してくれるわけではない。会社の方針変更で簡単に計画を変更することがあり、発注担当者の異動もよくある。しかし、企業経営者は異動で逃げることはできない。良く決断されたと思う。

この会社のホームページには、CSR 方針がある。そこに対従業員、顧客先、協力工場、仕入れ先、更に地域社会への責任を明確に記載があるがこれを確実に実行しておられる。それぞれに対して過去の人間関係や情実に負けて「これだけは」とか、「今回だけ」と経営者が特別として例外扱いし、言い逃れすることがよく聞かされる。多数の内外の批判や説得に対して、経営者が毅然として決断し、懇切丁寧な説明で交渉し、対応されたことは感動的である。これが本当の CSR の姿と思われる。(文責 加藤文男)

→ 【NPO 法人 C&S 経営支援協会】

理事長 松井利夫

「経営支援講座」の「補助金活用講座」開催のお知らせ！

イグレン加盟の「NPO C&S 経営支援協会」では、何度かイグレンニュースでご案内していますのでご存知と思いますが、3月15日(金)14:30より「経営支援講座」の一環として「補助金活用講座」を下記の要領で横浜信用金庫本店隣のアネックスビル2階会議室で開催します。この講座では、2月18日(月)に公募が始まった「ものづくり・商業・サービス経営力向上促進補助金」(以下、「ものづくり補助金」という)を中心に補助金の獲得と活用方法をご説明します。「ものづくり補助金」は昨年度の応募件数23,623件に対して11,989件(採択率50%)という驚異的な採択率の補助金です。この機会に、補助金獲得に挑戦されて如何でしょうか。なお、今年度は有料で申請書作成の支援もお引き受けすることにしていきますので合わせてご検討ください。

記

1. 名 称 「経営支援講座」の「補助金活用講座」
※ 詳しくは、巻末「経営支援講座」(補助金)開催案内をご覧ください。
2. 開催日時 平成31年3月15日(金) 14:30~17:00
3. 会 場 横浜信用金庫 アネックスビル2階会議室
(横浜市中区尾上町2-16-1 JR 関内駅徒歩1分)
4. 講 師 中小企業診断士 松 井 利 夫

【問合せ・申込み先】 NPO C&S 経営支援協会 松井

TEL/FAX : 045-845-1566 E-Mail : toshio_matsui@mve.biglobe.ne.jp

→ 閑中閑話

一月ほど前の朝日新聞（1月30日）に、経済同友会代表幹事の小林喜光氏の、「敗北日本は生き残れるか」という刺激的なタイトルのインタビュー記事が載っていましたが、お読みになった方も多いかと思います。

小林氏は、技術は米中が席卷し日本人の多くは立ち遅れと挫折の自覚がないと悲憤慷慨し、「内閣府の2018年6月の調査でも74.7%の国民が今に満足し、18～29歳では83.2%です。心地よくゆでガエル状態なんでしょう。日本全体は挫折状態にあるのに、挫折と感ぜない。」「国家の未来図が描かれないままの政治が、与野党含めて続いてしまったためです。」「経営者として、あるいは社会的公器のリーダーとして、社会に対して深く関わっていかうという意志を持った人の絶対数が減ったんです。」「財界トップに権威の無い時代だと自覚する。財界人だけで群れて固まらず、学界や知識人、若い人たちも含めた幅広い団体、いわば知的NPOを作って意見を交わし、社会に問いかけ、政治に注文する。」

なかなか鋭い指摘と問題提起だと思います。しかし、国民の多くが「心地よいゆでガエル」でしょうか。むしろ状況はもっと深刻で、「時代閉塞の状況」のもとでの「諦め」を内包した「満足感」の表明のように思います。

ともあれ、日本を牽引してきた財界人の深刻な自己批判の意思表示として興味深く、僭越ながら一読をお勧めします。

(愛賢司)

神奈川県異業種連携協議会

交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください（無料）

【月】	①②③宮川 豊 ④⑤荒 直孝
【火】	①②④⑤児玉 英二 ③愛 賢司
【水】	①菊地 ②指方 ③加藤 ④愛 ⑤芝
【木】	①②③④⑤松井 利夫
【金】	①愛賢司 ②指方 順一郎 ③④⑤織方
【土、日、祭日】	休業

神奈川県イグレン事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階インキュベートルーム703号

T/F 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com>

Mail : iguren@kanagawa-iguren.com

第 49 回海老名サロン開催要領

深刻な「人手不足」を背景に、外国人労働者受け入れの「規制緩和」を目的とした「出入国管理法改正案」が昨年暮れに国会で成立・公布され 4 月に施行されます。性別、人種・国籍等の違いを認め合い、多様性を前提とした企業活動を進めていこうというダイバーシティが、中小企業でも検討課題になっています。

改めて、中小企業における外国人労働者の活用・共生について考えてみましょう。

I. 日 時 3 月 29 日(金)午後 3 時より

II. 会 場 神奈川中小企業センター 6 階大研修室

III. 進 行 (時間配分は質疑も含む目安です)

1. 資料確認等

(3 時～3 時 05 分)

2. 報 告

(1) 「中小企業における外国人労働者の確保と活かし方」(3 時 05 分～4 時 20 分)

講 師 柳 舘 亮一氏 ユリーカ国際行政書士事務所長

・外国人サポートー各種ビザ申請、帰化申請等

・会社設立サポート他

一般社団法人外国人雇用支援機構 代表理事

①外国人労働者の現状

②「出入国管理法」改正の動向

③外国人労働者雇用の課題

④雇用時の際の会社が必要とする手続き

(2) 「中小企業におけるエンジニアの採用について

～技能実習生ではない外国人エンジニアの採用とは～

(4 時 20 分～4 時 50 分)

講 師 山田 恵梨氏 株式会社 One Terrace グローバル人財部門マネージャー

①海外からの外国人を社員として採用する方法

②外国人労働者採用を上手に進めるためのポイント (採用前から採用後)

3. 質疑・討論

IV. 交流会 「とりろう」(関内駅前) 参加費 3,500 円

① サロン (出席 欠席)

② 交流会 (出席 欠席)

ご本人以外の出席者方のご芳名・ご職名

* F A X 0 4 5 - 2 2 8 - 7 3 3 1

■ ■ 経営支援講座(補助金)開催案内 ■ ■

上手に活用しよう

補助金獲得の秘訣と活用のヒント

【日時】 平成31年3月15日(金) 14:30~17:00

【会場】 横浜信用金庫 アネックスビル2階

【講師】 中小企業診断士 松井利夫

【資料代】 1,500円

【定員】 15名

【申込方法】 FAX または E-MAIL でお申込ください(裏面参照)

【申込締切】 3月7日(水)

補助金には「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」、「事業承継補助金」、「人材確保・育成支援補助金」などがあります。これらの補助金についての最新情報と、補助金獲得の秘訣を分かり易く説明します。特に「ものづくり・商業・サービス経営力向上促進補助金」は、2月18日(月)に公募が始まりました。第1次締切りが2月23日(土)、第2次締切りが5月8日(水)です。この補助金は通称「ものづくり補助金」と称して、大人気の補助金です。昨年の「ものづくり補助金」では、応募件数 23,629 件、採択件数 11,989 件(採択率約 50%)という結果となりました。このように、「ものづくり補助金」は最も利用価値のある補助金ですのでこの補助金一本に絞って応募するのが最も有効な対策です。公募要領も明らかになっていますので「ものづくり」だけでなく「商業・サービス」に関する補助金の獲得を考えておられ中小企業の方を対象にセミナーを開催します。数年前までは採択率が悪く、採択件数も少なかったため応募してもなかなか採択されないことから応募するのを諦めていた事業主の方も、ご要望があれば申請書作成の支援も致しますので是非応募して頂きたいと思っております。

■ 内容

1. 小規模事業者のための公的補助金獲得の秘訣と活用のヒント
 2. 平成30年度補正予算による「ものづくり・商業・サービス経営力向上促進補助金」の公募要領
 - (1)補助対象事業
 - (2)補助対象要件
 - (3)事業内容
 - (4)補助対象経費
 - (5)審査方法と審査基準
 3. 申請書作成の留意点と採択に結びつく申請書作成の秘訣
 - (1)申請準備
 - (2)申請書作成の留意点
 - (3)申請書作成の書き方(事例紹介)
 - (4)採択に結びつく申請書作成の秘訣
- 個別相談：終了後、会場で個別相談をお受けします。

■ 講師紹介

講師 中小企業診断士 松井利夫(まつい としお)

カメラ・光学機器メーカーで生産管理、品質管理、協力企業の実業管理指導並びに社内
 全社コストダウン運動・間接業務効率化運動推進等に携わり、退職後の平成6年、松井
 経営コンサルティング事務所を開設。

主として生産・管理技術、人事・労務管理、公的補助金、異業種交流活動、経営法務等
 に関して幅広く中小企業の経営支援活動実施中。平成27年6月、NPO C&S 経営支
 援協会立ち上げ理事長に就任。

現在 NPO C&S 経営支援協会 理事長
 神奈川県異業種連携協議会(イグレン) 常務理事
 (一社)東京都中小企業診断士協会 城南支部会員
 川崎市中小企業サポートセンター派遣専門家登録診断士

「経営支援講座」の補助金講座申込書

平成 31年 月 日

企業名		住所	
役職		氏名	
相談申込の有無(有りの方は相談内容を具体的にご記入ください)			
連絡先	電話		
	E-Mail		

※ 必要事項をご記入の上、FAX : 045-845-1566 までお送りください。
 または E-MAIL : toshio_matsui@mve.biglobe.ne.jp で結構です・
 FAXの場合は、申込書を切らずにこのまま送信してください。

【問い合わせ先】 NPO C&S 経営支援協会 (ケイタイ 090-9130-0119)
 までお問い合わせください

【会場案内】 横浜信用金庫 アネックスビル 2F JR関内駅より徒歩1分
 (別紙:「経営支援講座 2018」のチラシをご覧ください)

主催 NPO C&S 経営支援協会(イグレン会員)
 後援 横浜市経済局、日本政策金融公庫、横浜信用金庫
 協賛 神奈川県異業種連携協議会(略称:イグレン)

平成30年度補正予算による

「ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」申請代行

NPO C&S 経営支援協会
理事長 松井 利夫

NPO C&S 経営支援協会では、中小企業診断士が「ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」の申請をお手伝いしています。

支援内容は次の通りです。

- | | |
|----------------------------|------------------------------------|
| 1. 初回相談 | 無料(別途:説明会 1500 円)
(出張の場合、交通費請求) |
| ①ものづくり補助金公募要領の説明 | |
| ②申請書作成の注意点・スケジュール説明 | |
| 2. ものづくり補助金・事業計画書(申請書)作成支援 | 着手金 10,000 円
採択時 100,000 円 |
| ①事業計画に関する助言 | |
| ②将来展望に関する助言 | |
| ③数値計画等の助言 | |
| ④申請資料の最終確認 | |
| 3. 加点項目の施策に関する支援 | 着手金 5,000 円 |